

民生環境水道常任委員会行政視察報告書

鳥井康子

神奈川県海老名市

「高座クリーンセンターについて」

【所見】

高座クリーンセンターを利用する、海老名市・座間市・綾瀬市の人口は合計すると足利市の人口の 2.5 倍程になるが、焼却施設はそれ程大きい印象ではなかった。限られたスペースの中に技術的な工夫で作られた施設であることは説明を受けて理解した。一般市民の持ち込み等は別の場所で受け付けているため、出入りする車両の数があまり多くないことは印象に残った。宇都宮市茂原町のごみ焼却施設「クリーンパーク茂原」において発生した火災の件が記憶に新しかったため、貯留ピットを見学した際に監視状況について確認したところ、温度センサーと画像での監視を行っているとのことであった。茂原の場合は画像による監視のみであったと聞いているが、温度センサーを用いた監視は火災等の異常を早期に感知するためにも必須であると考えた。このクリーンセンターの一般向けに自由に見学ができるシステムは、非常に優れたものと感じた。タブレットを活用し、質問事項に回答することで、見学者ごとにガイドを付けなくても解説ができるやり方は工夫できる選択肢も多く、見習いたい。見学コース途中に設置されていた「火災の原因となった処理不適物」の展示も「どのようなゴミに注意をすべきなのか」を理解するのに適切な手法であると感じた。余熱活用のプールは、多くの利用者がおり、市民に利用が定着していることが分かった。これから、クリーンセンターを建設する足利市としては、学ぶことの多い視察先であったと感じた。